

# ローマの法学と法学者

関連キーワード: 法制史、ローマ法、法学者

## 研究内容

私の研究は、西洋法のルーツとなったローマ法、特にその主たる担い手であった法学者たちについての研究です。古代ローマとはいわゆるローマ帝国のことですが、ローマも帝政になるまでは王政、共和政と様々な政体を経験し、広大な領土を獲得する中でローマ人のみならず様々な民族を包摂しながら国を大きくしていきました。

その中でさまざまな法的紛争が起きましたが、このような問題に取り組んでいたのが法学者でした。法学者というと現代では大学法学部の教員をはじめとした研究者を想起しますが、ローマでは政治家がそのまま法学者であったり、法学者の学説がそのまま法律の効力を持つ、すなわち法源として認められるなど現代とは大きく異なるものでした。

そんな世界で市民の法律相談に乗ったり、ときには皇帝の顧問機関として皇帝の政策決定や裁判のお手伝いをしたりするのが法学者でした。現代の大学教員も教育・研究のみならず様々な仕事をこなす人々ですが、ローマの法学者も学問のみならず政治に関わったりと様々な仕事をこなす人たちであったのです。

このようなローマの法学者についてローマ法大全に伝わる史料を中心に、研究しています。

## 研究者プロフィール

- ・ 法学部法律学科 講師 塚原義央
- ・ 専門分野：法制史、ローマ法
- ・ 所属学界：法制史学会

## 地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ デジタル化が進み歴史離れが進む中、改めて歴史を知る意義を語ることが出来ます。
- ・ 法律は現代日本のものだけではなく、古くからヨーロッパでも形成され、日本もそこから大きな影響を受けたことを語れます。

## 研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail : srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電 話 : 022-354-8122